

＜主な取り組み＞

1 地域資源を生かし世界に開かれた観光の魅力づくり

魅力的な観光地づくりを進めるため、小田原城跡の馬出門(発掘調査)、街かど博物館(染め織り館の整備)、箱根関跡(遠見番所復元)など歴史的・文化的観光資源の整備を行いました。

また、西さがみ連邦共和国が国土交通省が実施する「観光交流空間づくりモデル事業」の実施地域に選定されたことから、今後は、アクションプログラムに基づき、市町、県、民間が一体となって地域の特色を生かした観光交流空間づくりに取り組んでいきます。

2 活力ある産業づくりと魅力ある中心市街地づくり

箱根寄木細工など伝統的工艺品産業の後継者育成や木工芸技術者育成研修の実施、ウッドクラフト展の開催など地場産業の振興に努めました。

また、地産地消の推進や農林水産業の理解促進を図るため、落花生、みかんなどのオーナー制度や食の体験教室などを実施しました。

小田原駅周辺については、県西地域の広域交流拠点の整備として、小田原駅東口駅前広場の整備やお城通り地区再開発などに取り組んでいきます。

3 交流・連携を支える道路網などの整備

小田原市の風祭周辺の交通混雑の緩和に寄与する国道1号(小田原箱根道路)や西湘地域の骨格となる小田原環状道路が一部開通するとともに、地域における農作物の流通改善などを図るため、広域農道小田原湯河原線の整備を行いました。

また、津波高潮対策として、小田原海岸(国府津海岸)の防潮扉や防波柵の整備を行っています。

今後も、小田原環状道路や酒匂縦貫道路などの交流幹線道路網や広域農道の整備に努めるとともに自然災害対策として、砂防施設(椿沢、勘三郎沢)の整備などに取り組んでいきます。

＜課題と今後の対応方向＞

国内外から多くの人々が訪れるよう、歴史、文化、自然などの観光資源の整備に努めるとともに、観光PR・観光情報の効果的な提供や国内外からの観光客の誘致に取り組んでいきます。

地域の交流拠点にふさわしい市街地の魅力と活力を再生するため、小田原駅周辺などの整備を進めるとともに、新たな企業誘致をめざします。また、地場産業や農林水産業と消費者との交流の促進を図ります。

多様な交流・連携を支えるため、交流幹線道路網などについては、順次整備を進めていきます。



箱根関跡・遠見番所復元



国道1号(小田原箱根道路)

地区の数値データ(指標)

○入込観光客数 (暦年)(単位:千人)

	2001	2002	2003
日帰り	24,095 (18.0%)	23,817 (17.5%)	24,698 (17.7%)
宿泊	6,051 (47.6%)	5,939 (46.2%)	5,878 (45.8%)
計	30,146 (20.5%)	29,756 (20.0%)	30,576 (20.1%)

〔神奈川県入込観光客調査報告書〕
(神奈川県観光振興対策協議会)より作成

○外国人入込観光客数 (暦年)(単位:人)

	2002	2003	2004
箱根町・宿泊	66,225	52,576	69,325

(「箱根町調べ」より作成)

○小売業の年間商品販売額 (暦年)(単位:億円)

	1997	1999	2002
	3,359 (4.3%)	3,256 (3.7%)	3,192 (3.8%)

(「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成
西暦は調査実施年を示す)

○事業所数 (単位:事業所)

	1991	1996	2001
	14,739 (4.6%)	14,713 (4.5%)	13,684 (4.4%)

(「事業所・企業統計調査(総務省)」より作成)

○中心市街地流動客数 (単位:人/日)

	2002	2003	2004
	112,438	134,710	112,645

(「小田原市主要商店街流動客調査」より作成)

○都市計画道路の整備率 (単位:%)

	2001	2002	2003
	61.3	63.5	64.2

(「都市計画課調べ」より作成)

※()内は全县に占める割合